

神奈川県民協議会だより



区の木：こぶし

No. 21

編集・発行 神奈川県民協議会  
事務局 神奈川県役所区政推進課内  
神奈川県広台太田町3-8  
電話：411-7021  
Fax：314-8890



神奈川県民協議会は、「住みよい神奈川区のまちづくり」を目指して数部会に分かれ活動しています。各テーマについて調査研究を行い、必要に応じ現地調査等も行っています。

(神奈川県民協議会は略称を区民協としています)

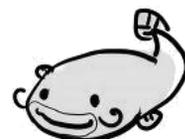
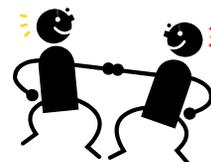
<http://kanagawakumin.bakufu.org/>

## 平成28年度 「区民のつどい」開催

区民協議会の活動の大きな柱である区民のつどい。今回は、第18期（1期2年）の2年目ですので、各部会が2年間取り組んできた活動の成果についてご報告します。また、「地域のつどい」の結果などを分かりやすく紹介します。多くの区民の皆さまのご参加をお待ちしています。

### 第一部 第18期 神奈川県民協議会部会活動報告

- ①やさしい情報伝達について
- ②ごみ問題について
- ③災害時対応について



### 第二部 ・講演「災害時に神奈川県が抱える問題とは？」

- ・参加型講演「防災クイズ」にトライ

講師 島田 恵氏

▲日時 7月12日（火） 13時～15時45分（12：30開場）

▲場所 神奈川公会堂

▲定員 400名（手話通訳付き）・・・参加される方は、当日直接会場へお越しください。

▲一時保育をご希望の場合は事務局への事前のご予約が必要です。

## ～情報の伝え方を考えます～

### 情報をやさしく伝える会

様々な年齢層からなる区民の皆さまへの情報の伝え方について、この2年間のテーマとしてアンケートや調査などを行い検討したことを報告いたします。

#### 1. 高齢の皆さまへの対応

アンケートから、31%の方が広報紙は大変に有用であるとの認識です。今後は文字の大きさや簡潔な紙面構成などの検討が必要と思われます。また、回覧板は一度に回覧される数量が多いので記事の重要性の判別の容易化などが求められます。

#### 2. 若壮年の皆さまへの対応

区役所のウェブサイトへのアクセス件数が年間150万超あり、20歳～60歳の利用者を例とした場合、約12回/年となります。ウェブサイトやツイッターの伝達内容の簡易化、使い勝手など充実を図ることが求められます。

#### 3. 電子媒体の発展への今後の課題

平成27年に行われた国勢調査で神奈川区の約12万世帯のうち、ネット回答者が約38%に達したことを考えると、公的電子情報にもその利用が浸透していることが分かります。これらのことから次のような対応が必要であると考えます。

※印刷媒体のあり方の検討

※電子媒体のあり方の検討

## ～様々なマナーやモラルについて考えます～

### M・Mの会

M・Mの会は27年度に入り、ごみ集積所の環境とマナーについて調査研究を継続しながら、資源の再利用について勉強してきました。

資源ごみの再利用やりサイクルの流れ・効果について、鶴見資源化センターと横浜プラスチックリサイクル工場の見学に行ってきました。最初の工程は粗大ごみとして持ち込まれる家具等の可燃物の処理でした。機械で50cm程度に



破砕してベルトコンベアーで隣の焼却施設に搬送され燃えるごみとして処理されます。次にアルミ缶とスチール缶、ペットボトル、瓶の種類分けです。ペットボトルは圧縮され四角い形に成形し梱包されます。アルミ缶とスチール缶はさらに圧縮され分別され梱包品となります。瓶類は茶色と無色はそれぞれ同じ色の瓶に再生されるそうです。その他の色ガラスは建設資材等になるそうです。また、プラスチックも同じように製品として再利用され、衣類などに生まれ変わります。施設見学を終え、参加した一人一人が分別収集の重要性を痛感いたしました。

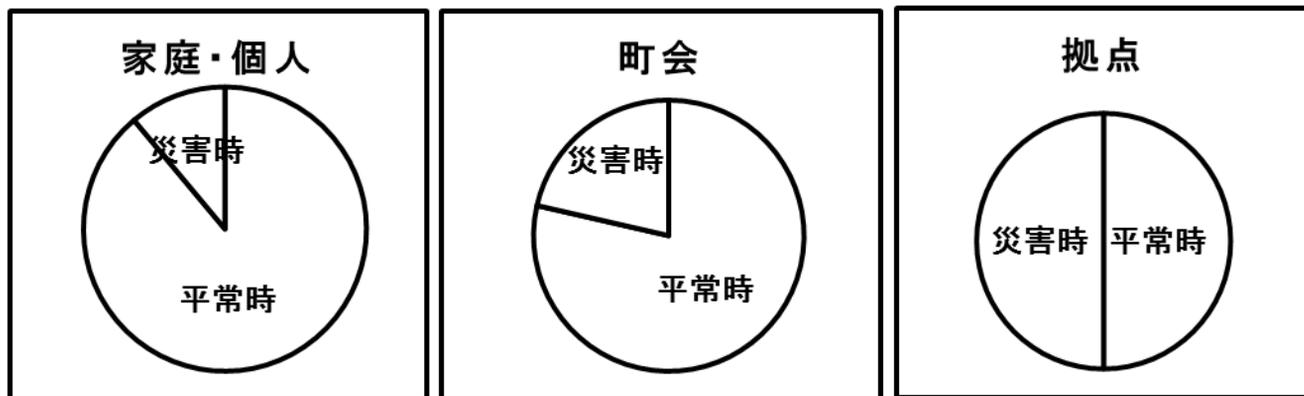
ごみの集積所につきましては「分別されていないためにシールを貼られ残ったごみ類」がどのようになるのか、調査したデータを検討します。

以上のような活動を通して学んだことを整理し、提言していきたいと思っております。

## ～災害時の対応、防災・減災について考えます～

なまずの会

なまずの会は、平常時と災害時では「家庭・個人」「町会」「地域防災拠点」それぞれの役割の大きさが違ってくることに注目しています。そして、それぞれに「できること」「できないこと」があることを調査検討してきました。「家庭・個人」は平常時には「意識の啓発と災害準備実行」、災害時には「身の安全」となり、「町会」は平常時には「住民の意識の啓発」、災害時には「拠点⇔町会⇔家庭間の情報・物資の連絡」となり、「地域防災拠点」は平常時には「機能強化」、災害時には「地域と行政を結ぶ災害対策本部」となります。それぞれの役割の比率は以下のようになります。詳細は「区民のつどい」で発表いたします。



### 白幡地区地域のつどい（平成27年11月6日、白幡地区センター、33名参加）

白幡地区は東西を主要道路である綱島街道と横浜上麻生道路に挟まれ、北側に東急東横線が横切っている地域で、8つの自治会町内会で構成されています。全体に起伏が多い土地に住宅が密集している地域で、いわゆる木密地区として神奈川区の重点対策地域にも指定されており、防災・減災に関して、いやが上にも高い意識を持たざるを得ない地区です。当日出席の皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。①アパート入居者の町会未加入問題（町会費が集まらない） ②ごみ問題（ルールが守られていない） ③町会役員の引き継ぎ問題（定年制も必要では） ④町会役員のなり手がいない（担い手の問題） ⑤重点対策地域にもかかわらず認識を持っていない人が多い ⑥ポール防犯灯、腐蝕しているものがある ⑦大規模工事の際、搬入ルートに係る町会への事前説明が無い ⑧空き家対策で周辺住民の苦情を行政から所有者に伝えてほしい ⑨高齢者、若い要援護者をどの様にするか（助け合える町会運営を） ⑩東京都発行の防災ブックのようなものを横浜市でも発行してほしい 等、たくさんのご意見をいただきました。白幡地区の皆さま、ありがとうございました。



## 神北地区地域のつどい（平成28年2月7日、六角橋ケアプラザ、48名参加）

神北地区は、神奈川区の中でも古くから栄えた商店街地域と、古い町並みが山坂の多い地帯に開けた住宅街地域とに分かれ、10の自治会町内会で構成されています。神奈川区の重点対策地域として指定されており、防災・減災に対する住民意識は高く、日頃から地域一丸となった活動を積極的に推進されているところです。また、近隣にある神奈川大学の学生が居住している单身アパートも多くあり、それらの方々と地域とのコミュニケーション作りにもいろいろとご苦労されているようです。当日出席の皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。①地域防災拠点が通学している学校と違う所がある ②備蓄は自らの町会内でやるべき（自助の努力で） ③町会役員のなり手がいない（公務員がもっと出てくるべき、学生の活用も） ④事件事故等に係る情報が地域に提供されない ⑤高齢者の夫婦世帯へのケアが必要では（制度化を） ⑥高齢者への情報伝達をもっと分かり易く ⑦緊急時に役所の時間外での対応ができていない（土日休日深夜の対応を）等、たくさんのご意見をいただきました。



神北地区の皆さま、ありがとうございました。

## 神奈川地区地域のつどい（平成28年2月26日、神奈川地区センター、29名参加）

神奈川地区には旧東海道の神奈川宿があり、この地名が県や区の名前の由来です。歴史や伝統の残る街を活かした「神奈川宿歴史の道」があり、この歴史の道を挟むよう大小17の自治会町内会で構成された地区です。近年は大型マンションも建設されていますが神社仏閣が多く住宅地を中心に古くから栄えた地域です。また会場の地区センターには神奈川宿を復元したジオラマがありました。開催が平日の午後で参加者の出足が心配でしたが、定刻近くになりますと二人三人と参加者が集まり始め、開会されますと参加者の皆さまから活発なご意見をいただきました。

①東神奈川駅禁煙の問題 ②京急・JRの車庫があり、災害時逃げ場がない ③京急の高架下トンネルに照明がない ④郵便ポストが撤去され不便 ⑤神奈川警察署付近に歩道がなく通学時子どもが危険 ⑥神奈川新町駅付近のバリアフリー化はいつまでに？ ⑦神奈川警察署付近の信号で黄色進入車両が多く危険 ⑧駅付近にたばこの投げ捨てが多い ⑨新浦島橋完成はいつ？ 等、たくさんのご意見をいただきました。



神奈川地区の皆さま、ありがとうございました。

## 区民まつり（平成27年10月11日）

時折雨がパラつく曇り空の一日でしたが、大勢の方が来場され大盛況。我ら区民協も恒例となった模擬店を出店しました。昨年のフランクフルトとたい焼きが早々に完売したのに気をよくし、焼き餅も新たに加え張り切ってスタート！「売り子」としてはどう見ても高すぎる年齢を跳ね飛ばすパワーで、何とか3時前に完売“ホッ！”今回は今期の各部会のテーマに対する区民の意識アンケートも会場で敢行、ありがたくも予想以上の多くの回答をいただくことができました。回答内容は意外な点も多くたいへん参考となりました。今期の提言に何とか反映したいと思っています。



## 二宮区長との懇談会（平成27年10月7日）

今期2回目の懇談会が開催されました。区役所からは区長をはじめ、副区長や関係各部署の課長、係長等のご参加をいただき、区民協議会からは代表委員、各部会正副部長が参加しました。

各部会から予め質問項目をお出しし、その回答をいただきました。その後質疑応答がなされました。「情報をやさしく伝える会」は地域への情報発信について、「M・Mの会」はごみ問題について、「なまずの会」は神奈川区に起こり得る災害事象について質問をし、活発な議論を展開しました。区長をはじめ、関係部署の課長等から真摯なご回答をいただき、今後の部会活動の充実につながる良い機会となりました。



## 施設見学会「大林組技術研究所」（平成28年1月22日）

今回は東京都清瀬市にある（株）大林組の技術研究所を訪問しました。

さすがに工事受注高日本一の建設会社。その施設の大きさ、実験設備の多さ、充実にビックリ！研究内容も建物をコンピューター制御での制震、超高強度の建材開発、自然熱源と蓄電池駆使のゼロエネルギービルの実現、他、数え切れず。驚くことは、それらのほとんどをこの研究所の業務棟として実際に使用しながら実践実験していることでした。

今後これらの研究成果の多くが実用化されるとのことで、減災や地球環境維持への貢献から大変興味深く、また心強くも感じた施設見学会となりました。



## 第18期を終えるにあたって（代表委員 澤 兼一郎）



私が、区民協議会の代表に就任して2期4年が早くも過ぎようとしております。振り返ってみますと、大きな不安を抱えたまま代表に就任し、委員の皆さまに支えられ今日まで大過なく過ごすことができたことに、感謝を申し上げます。その間「地域のつどい」では、数多くの自治会町内会の会長様に接し、親交を深めることができましたことは大きな喜びでもございます。そしてそれぞれの会長様が、自分たちの地域を愛し、献身的に努力されていることを知り改めて敬意を表したいと思えます。現在3部会で活動しており、その活動テーマは「地域のつどい」で皆さまからいただいたご意見の中から抽出し、神奈川区民として住んで良かったと誇れる街づくりに、貢献できることを念じて活動してまいりました。テーマによっては、改善する前に、人間づくりが大切ではないかと思えることも多くあり、活動中でも度々、区民みんなが相手を思いやる心で生活をすれば、全ての問題は解決するのでは、との意見が出たこともありました。しかし、現実の問題に取り組むことが、区民協の使命だと反省し、自分たちでできないことは、行政の力を借り2年間活動をしてまいりました。その成果は7月開催の「区民のつどい」で発表させていただきます。最後になりましたが、行政をはじめ関係団体のご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

## 19期メンバー募集中

神奈川区民協議会は、住みよい神奈川区のまちづくりのために、いくつかの部会に分かれて活動しています。月に1回程度集まり、協議・検討・調査などを行い、活動の成果を行政等関係機関などに提言していきます。第19期は、平成28年7月から2年間活動します。この活動を通じて、たくさんの人々との新たな出会いと、様々な発見をすることができます。皆さまも様々な課題の解決に向けて一緒に活動に取り組んでみませんか？

下記テーマに関心があり参加を希望される方は、6月15日（水）までに、神奈川区役所区政推進課広報相談係

TEL：045-411-7021

FAX：045-314-8890

まで、ご連絡ください。

※各課題につきまして一定の人数に達しない場合は、活動テーマとして取り上げないことがあります。

### 19期のテーマ

- ①マナー・モラルの改善
- ②自治会町内会の後継者問題・未加入問題
- ③地域活動と情報伝達
- ④災害時対応
- ⑤ごみ関係